

7月6日(木曜日) 杉を除伐し、皮を剥ぐ

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、湯川、吉田、鈴木明、計10名】



今日は、森の音楽会の舞台の背景や小川の橋などに使用する丸太棒を作る作業である。「森づくり三重」の湯川さんが参加してくれた。

毎年、杉の木が水分を多く含み、皮を簡単に剥ぐことができるこの梅雨の時期に行っている。

まず、直径10～15センチぐらいの杉の木を選び、除伐した後、5メートルの長さに切っていった。

次に、先週作っておいた、台の上に杉の木を置き皮を剥いでいく。鉋を皮の下に入れ、少しずつ浮かしていくと後はその皮を持って引っ張れば、気持ちのいいように、スーッと剥がれてくれる。実に気持ちのいい感覚である。

丸太は、みずみずしく、すべすべしており、頬ずりしたくなるほどである。

7月6日は、モリメイト・中さんの誕生日。

ケーキとお茶を用意しお祝いをする。



7月13日(木曜日) モリメイトフィールド周辺の草刈り

【参加者：梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、山本、鈴木明 計6名】

男性陣は、モリメイトフィールド周辺の草刈りを行う。

来週、カブトムシを探して腐葉土を入れ替えるため、女性陣は、

ビートルズベッド（腐葉土置場）の草引きを行う。モリメイトフィールドの池



のアメリカザリガニを捕獲し、ザリガニ釣りができる池に移し替える。



7月20日（木曜日）

ケーブルテレビの取材を受ける

【参加者：梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、鈴木明

計7名】



1 昨年落ち葉で一杯にした南側のビートルズベッドの中はほとんど腐葉土となり半分ほどになっていたの、北側の腐葉土置場の方に入れることにした。夏前に入れたカブトムシの幼虫が成虫になっているかを探すのももう一つの目的である。

スコップで掘

り起こして一輪車に入れ、隣に移すという作業を繰り返しているとき、カブトムシがいた！の声上がる。残念。虫に食べられたサナギであった。

ほとんど移し終え、今年はダメかと思った時、動き出す物体が！カブトムシである。やっと一匹いてくれた！！メスではあったがみんなの顔に安堵の表情。

この作業の間、伊賀上野ケーブルテレビの取材を受け、1年間の作業内容、モリメイトに入ったきっかけ、モリメイトの魅力などの質問に答える。汗だくどくの作業であるが、話しながら笑いながらの作業に、モリメイトの「本気で遊ぼう」のモットーを分かってもらえたかと思う。



7月27日（木曜日）

モリメイトフィールドを流れる小川をきれいにする

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、鈴木明

計8名】



落ち葉や枝、泥などが川底にたまり、小川の流れが悪くなって来ていた。このままでは、メダカなどの小動物も少なくなっていくと思われたので、落ち葉や枝を取り除き、川底をさらうことにした。ヘドロがたまっているところもあり、思った以上に大変な作業であったが、そこはモリメイトである。いつの間にか童心に帰って泥遊びをしているかのように作業は進んでいった。流れも良くなり、水も徐々に澄んできている。

周辺の草も刈り、綺麗な小川の流れる里山となった。

